城山公園（堀之内地区）第2期整備の概要



北御門広場
・北側エントランスとして整備
・江戸時代の門を立体・平面表示
・トイレ、駐輪場、車止めを設置
・ふれあい広場の北側を延長し、東屋を設置

西之丸
・堀之内を一望できる眺望地
・展望施設兼東屋を設置
・西之丸を立体表示
・井戸・道路等を平面表示



侍屋敷外
・来園者の学習、観光の拠点として整備
・江戸時代の土塀・屋敷境を植栽等で表現
・侍屋敷の間取りを平面表示
・休憩所兼ボランティアガイド案内所設置

小普請所
・家族連れが安心して利用できる芝生広場として整備

内堀
・青色の砂利を敷き詰めお堀を表現

新しく整備した施設



■休憩所兼案内所　　【利用時間9:00～17:00】

・愛媛県産の木材を使用。東面と南面を全面ガラス張りにし、侍屋敷の間取りを建物内外に一体的に表現。
・大型解説パネルと65型モニターで松山城や三之丸を紹介
・発掘調査で見つかった陶磁器のレプリカを展示



■展望施設

・周囲の眺望が楽しめる開放感のある施設
・小高い丘から公園を一望しながら休憩・学習
・愛媛県産の木材を使用



■古井戸

・江戸時代に使った古井戸の保護・展示施設
・深さ約6m
・本丸跡の井戸と「松山城下図屏風」に描かれた他の井戸を参考に覆屋を設け、安全に見られるよう格子蓋を設置



■トイレ

・史跡内の既存の建物と統一感がある外観
・利用しやすいよう段差をなくし、木格子を設けプライバシーと通風を確保
・男性用1カ所、 女性用1カ所、 多目的トイレ1カ所



■東屋

・1人でも、グループでも使いやすい席に配置を工夫
・午後は日陰になり、落ち着いた静かな雰囲気
・愛媛県産の木材を使用



■駐輪場

・北側から訪れる公園利用者向けに、約45台の駐輪スペース
・公園内既設の駐輪場と統一感を出すデザイン
・愛媛県産の木材を使用